

キャンパス名	東京キャンパス人文学部歴史学科				
授業番号	T112003-03				
授業名	情報管理法 B	形態	演習	単位	1
担当教員	加藤 徹郎				
開講学期	2022年度 後学期	曜日・時限	月曜4限		
授業目的	実データとデータ解析ツールを用いた演習を通して、データを読み、処理し、説明するというデータサイエンスの基礎知識と利活用を学ぶ。				
授業内容	授業では、データを分析や考察、表現し読み解くスキルを身に付け、表計算の知識とスキルの習得を図り、その可視化のための図表表現を理解するなど、データを扱うための力を身に付ける。				
到達目標	専門教育で利用する集計や可視化といった基本的なデータ分析の基礎技能を身に付け、日常生活や社会の場で有効に利活用できることを目標とする。具体的には、データサイエンスの基礎技能とその利活用を学ぶこと、データを適切に読み解く力を養うこと、データを適切に説明する力を養うこと、データを扱うための力を養うことを目標とする。				
ディプロマポリシーとの関連性	＜DP1- (2) ＞ 【1 社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】の(2)に該当する。 この科目を履修することにより、情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けることができる。				
授業形態	授業の形式は、基本的には演習形式の実技科目である。ただし、アクティブラーニングの手法を援用し、学生同士での問題解決を促す場合もある。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15週) + 事前事後学習60時間				
テキスト	毎回プリントを配布するので、テキストは使用しない。 ただし参考書として『情報リテラシー 総合編 改訂版』(FOM出版, 2018, ISBN978-4-86510-346-5)を挙げておく。 また全学として指定されたテキストは以下のとおり。 ・『情報活用とアカデミック・スキルOffice2016』松山恵美子・黄海湘, 共立出版 (ISBN : 9784320124295) ・『情報リテラシー』FOM出版				
評価方法	下記の評価基準に加えて授業への参加態度(質問・意見等)なども考慮する。ただ受け身で授業に臨むのではなく、わからないことを自分で調べようとする積極性を重視したい。また、与えられた課題は最後まできちんとこなすこと。				
評価基準	学期内の単元終了後、それぞれ課題提出を求める(計2回)。加えて積極的な授業参加・態度(質問・意見等)も評価する。評価の配分は各課題提出を45点満点とし、授業内平常点10点程度の合計100点とする。				
試験・レポート等のフィードバック	試験は行わない。かわりに、学期を通じての課題提出が単位認定の要件となる。したがって、課題制作にかんする教員への相談や打ち合わせがフィードバックの役割を果たすことになる。質問・意見等、積極的な授業参加を望みたい。				
注意事項及び履修条件	毎回出席をとる。欠席した場合は、授業時間以外に自習をし、次回の授業に備えること。遅刻・欠席の総数にかんしては自分自身で管理する。「何回休んだか?」と聞かれても一切答えるつもりはないので注意するように。一回目から授業を開始するので準備を忘れないようにする。毎回の事後学習の徹底は必須である。 ※ 授業は内容や進行に若干の変更を加える場合がある。				

S : 100~90、A : 89~80、B : 79~70、C : 69~60、D : 60未満

第1回	
事前学習	シラバスを熟読し授業目的、内容、到達目標を確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 ガイダンス、実データの読み解きと処理の基本とその操作 【授業内容】 授業の到達目標、全体の構成、各回の授業概要、評価方法、評価基準について解説し確認する。データ処理を行う際に必要となる知識と技能についてのガイダンスを行う。
事後学習	評価方法、評価基準の確認をしておくこと。セル、行、列、ワークシートといったキーワードについて、Excelの画面構成の理解といった授業内容を反復確認する。
参考文献	0

第2回

事前学習	前期後半に解説したExcelの基本操作を復習しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel① データの入力と数式の基礎 【授業内容】 データの処理の基礎であるデータ入力とその処理式について、演習課題を用いた基本機能の使い方の解説をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第3回

事前学習	前期後半に解説したExcelの簡単な関数について復習しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel② データを読み解く数式と関数 【授業内容】 前回に引き続き、データの処理の基礎であるデータの処理式と基本関数について、演習課題を用いた基本機能の使い方の解説をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第4回

事前学習	参考書などで、データの分類と表の編集の仕方を確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel③ データの分類と表の編集 【授業内容】 データの処理の基礎である表形式のデータの取り扱いについて、演習課題を用いた基本機能の使い方の解説をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第5回

事前学習	参考書などで、データの並び替えと集計、データベースの利用を確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel④ データの並び替えと集計、データベースの利用 【授業内容】 データの集計や抽出処理を目的とした、演習課題を用いた機能の使い方の解説をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第6回

事前学習	参考書などで、複数データの操作について確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel⑤ 複数データの操作 【授業内容】 複数データの処理を目的とした、演習課題を用いた機能の使い方の解説をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第7回

事前学習	参考書などで、関数（COUNTA,IF, COUNTIF など）について確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel⑥ 関数の基礎(1) 【授業内容】 多様な関数を使った、演習課題を用いた機能の使い方の解説をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第8回	
事前学習	参考書などで、関数の組み合わせ（IFのネスト）などを確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel⑦ 関数の基礎(2) 【授業内容】 引き続き、多様な関数の使い方を解説をしていく。ここでは主に、関数の組み合わせによる複雑な計算方法を学ぶ。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第9回	
事前学習	参考書などで、グラフの作成方法について確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel⑧ グラフを用いたデータの可視化と説明 【授業内容】 グラフを作成する演習課題を用いた機能の使い方の解説と、グラフを掲載する文書作成といった実例を通して確認をしていく。問題はこちらで用意するので、実習中はその課題に取り組むこと。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。また、練習問題で反復練習する。
参考文献	0

第10回	
事前学習	授業プリントなどで、これまで解説してきたExcelの機能を総確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 Excel⑨ データ分析の総合演習 【授業内容】 課題を用いて、ここまでの授業で紹介した機能の使い方を総確認する。この授業は実質的に、評価対象としての後期提出課題のひとつ目に当たる。
事後学習	授業内でわからなかった課題・間違えた課題を反復練習する。
参考文献	0

第11回	
事前学習	参考書などで、HTMLについて確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 HTML① HTMLの基礎的理解 【授業内容】 HTMLの構造を基礎的な部分で理解する。タグの打ち方、ネスト構造、文書型宣言、メタタグの入る場所など。txt ファイルと html ファイルの関係について理解する。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。特にHTMLの単元は内容が連続しているため、次の授業までにしっかりと終わらせておくこと。
参考文献	0

第12回	
事前学習	参考書などで、ページリンクと階層構造について確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 HTML② ページリンク/階層構造 【授業内容】 複数のHTMLファイルを作成し、それぞれをリンクさせるようにする。またそれに伴い、階層構造の考え方も学習する。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。特にHTMLの単元は内容が連続しているため、次の授業までにしっかりと終わらせておくこと。
参考文献	0

第13回	
事前学習	参考書などで、HTMLにおける画像の貼り付け方について確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 HTML③ 画像の貼り付け/相対パス 【授業内容】 HTMLファイルにおける、画像の貼り付け方について学習する。また、各ページに画像を貼る場合の考え方（相対パス）についても解説する。
事後学習	授業内で終わらなかった課題を完成させる。特にHTMLの単元は内容が連続しているため、次の授業までにしっかりと終わらせておくこと。

参考文献	0
第14回	
事前学習	参考書などで、CSSについて確認しておくこと。
授業内容	【テーマ】 HTML④ CSS 【授業内容】 HTMLファイルとCSSファイルの関係について学習する。セレクタ/プロパティの役割と機能など。また上級編としてdivタグやクラスの使い方についても解説する。
事後学習	最終提出日までにHTML作品を完成させておくこと。
参考文献	0

第15回	
事前学習	HTMLの構造を総復習し、完成作品を仕上げしておく。
授業内容	【テーマ】 まとめと今後の展開 【授業内容】 これまでの授業内容を全編振り返り、データサイエンスの総合的なイメージを確認する。あわせて最終課題については提出・作品発表会を行う。
事後学習	全体を通した総復習を行い、知識、操作の定着を図る。不明な点があれば確認すること。
参考文献	0

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） 学則に定める卒業要件を満たし、社会構成員としての基本的教育及び文学に関する専門教育の知識・技能及び能力を有する者に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>【1 社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。 （1）日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。 （2）情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。 （3）問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。 （4）人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p> <p>【2 表現分野における知識・技能・能力】 表現全般に係る、文章表現や言語表現などに関する専門的知識を修得した上で、獨創性、創造性に富む表現技法を身に付け、職業人としてそれらを活用する態度を有している。 （1）言語知識や感情を適切に伝える基礎知識及び手法を修得し、文章表現や言語表現を創造的に行う表現技法を身に付けている。 （2）文芸表現、編集表現あるいは音声表現、映像表現などに関する応用的な知識と能力を身に付け、それらをもって地域社会へ貢献する意欲を身に付けている。</p>
-----------	--